

リニアは夢の乗り物か？

ストップリニアニュース No.7

発行：リニア新幹線を考える相模原連絡会 2013.04.27

詳報！中間駅は相模原の発展に本当に必要？ 公開質問状への市の回答は具体性に欠ける内容

リニア新幹線を考える相模原連絡会の提出した17項目の公開質問状に対して市から2月に回答があり、3月26日懇談をもちました。市側からは「広域交流拠点推進室」、「交通政策課」、「環境政策課」、「危機管理室」などの担当者が出席しました。リニア相模原連絡会からは11名の参加で約2時間、17項目の内容に関して意見交換が行われました。多くの指摘のある安全性の問題や、中間駅や車両基地建設に関わる様々な問題についても市側の回答はおおよそ具体性のない内容でした。相模原市は中間駅誘致に積極的ですがその誘致効果についての説明はなく、きちんとした報告も出されていません。

公開質問状(質問 2)に対する加山相模原市長からの回答

2 JR東海によるリニア中央新幹線計画を推進期成同盟を作って支持、推進、駅誘致される相模原市の目的は何ですか。

[回答]

駅設置のインパクトを最大限に活用し、周辺都市との連携の中で、人や企業に選ばれる魅力あるまちづくりを展開し、「首都圏南西部における広域交流拠点都市」として持続的に発展することにより、市民福祉の向上に寄与することを目的としています。(交通政策課)

<平成 25 年 2 月 21 日「リニア中央新幹線中間駅誘致計画に関する公開質問状について(お答え)」より抜粋>

南アルプス北岳の
キタダケソウ (絶滅危惧種)



市との懇談会に参加して

駅誘致による立ち退き、環境、安全性などの地域住民の不安を、市はどう考えているのかと質問しましたが、市側から答えられる人は誰ひとりとしていませんでした。具体的な説明がないまま、リニア中間駅は橋本にほぼ決定されようとしています。市とJR東海は具体的な計画を早く明らかにし、地域住民の不安や疑問に対する説明と計画内容について広く意見を募るべきです。(橋本 A.M)

リニア新幹線と日本の公共事業

環境を守り、脱原発 - 持続可能な社会を！

お話しと意見交換 橋本 良仁さん

高尾山の自然をまもる市民の会 事務局長
公共事業改革市民会議 代表

日時：5月26日(日)午後2時より (資料代500円いただきます)

場所：橋本駅北口 ソレイユさがみ セミナールーム 1(スーパーイオン 6F)

主催：リニア新幹線を考える相模原連絡会 リニア沿線住民ネットワーク
連絡先：浅賀(090-4378-9257) 中野渡(042-712-7077, mail: MHA01005@nifty.com)

詳報！ 陳情は継続審議に

(建設委員会傍聴記)

当会が市議会に提出した「リニア中央新幹線について」の陳情は、3月7日建設委員会で審査されましたが、「継続」となり6月議会で再度審査されることになりました。

陳情項目1に関連して市の担当者は、市民の不安や疑問解消のための説明会を、JR東海と共に過去開催しており、それで尽くされていると回答。また、項目2に触れた久保田議員は、(JR東海が)秋に説明するといっているんだから、その前にどうのこうの言うのはどうか、国の事業だからねと発言。さらに同議員は、建設当時の京王線の騒音問題は、利便性の前に消滅したと述べて、リニアに対する無知・無関心を露わにした。

一方、藤井議員は、電磁波の健康に関する影響や、国際的問題になっているヘリウム枯渇との関連について、市としての取り組みの必要性を端的に質したが、市担当者は明確な回答をせず、すべてにおいて、国、JR東海に責任丸投げという姿勢が明らかになった。また、経済波及効果については、JR東海が中間駅停車数を明らかにしていないにも関わらず、市は1時間5本停車を基本とするなど、不確かな見通しで、不安は助長された。(桜井・篠田)

陳情項目

1. リニア中央新幹線中間駅誘致並びに車両基地建設については、市民生活に多大な影響を与えるにもかかわらず、市民が納得できる十分な情報提供と説明がなされているとはいえません。その危惧を払拭するためにも、市議会が代わって議会の場で疑問点を明らかにするようにしてください。
2. これらの疑問点を市民に直接明らかにするために国、JR東海、神奈川県、相模原市の4者が出席し、質疑応答を十分に保障した説明会を開催して市民の不安が解消されるように市当局に働きかけてください。

<2013年2月6日提出「リニア新幹線に関する陳情書」より抜粋>

リニア相模原連絡会発足一周年にあたって

2012年2月の黒岩知事、加山市長による「中間駅誘致」の言及を受け、3月末に発足集会をしてから1年。この2月には「沿線住民ネットワーク」も発足しました。リニア計画の凍結を求める全国署名には、市内近県はもとより、福島、京都また福岡から、次々寄せられる署名の1枚1枚に、皆様の熱い想いを感じ、「諦めてはいけない」という決意を新たにしています。

リニア計画の背景には、3.11を経ても活断層の存在を認めない電力会社の利権構造、原発再稼動に動く『国策』と同質のものが見え隠れします。そこで言われる「国土強靱化」は、リニアの場合「国土破壊計画」です。南アルプス赤石山脈を貫通し、相原高校を移転させてまで推し進めようとする建設予定にどう向き合うか、今私たちのまちをどう守るかが問われています。主権者である市民の合意形成のために、確かな情報公開を引き続き求めていきます。一層のご支援をお願いします。 <代表 浅賀きみ江>

リニア新幹線絶対反対短歌

問題の多いリニアをなぜ誘致
市民の暮らしにプラスにならぬ
おれたちはモグラじゃないぞ橋本で
地下へもぐって何処へ行くのか
吾輩の高価な時計も電磁波で
やられはしないか私は乗らぬ
何故やるか電気の浪費自然破壊
地下水切断相原高移転
市役所は市民のことを考えて
市民の好まぬ企画立てるな

(中央区 K)

国土交通大臣への請願署名

★第一次集約:2,332筆(2013年3月30日)

リニア相模原連絡会で取り扱いの「リニア中央新幹線」計画の凍結を求める署名の第一次集約結果です。引きつづき署名活動のご協力をよろしくお願いします。*第二次集約 2013年6月30日



発行者： 浅賀きみ江 相模原市緑区東橋本2-6-2 (TEL:090-4378-9257)

編集責任： 中野渡旬 相模原市緑区東橋本3-19-8-309 (TEL, FAX:042-712-7077 mail:MHA01005@nifty.com)

活動は募金で維持しています。ご協力ください 郵便振替口座：00240-7-71305 口座名：リニア新幹線を考える相模原連絡会